校報　あ　ず　ま　ね

紫波第三中学校（稲藤字牡丹野５－１　673-7305）

文責：校長　角谷　隆章

2024 年 7 月 25 日（木）

～伝え合い　響き合い　高め合う～

紫波町立紫波第三中学校　学校だより　No.5

# 【たくさんの成果を収めた１学期が終了！】

本日、１学期が無事に終了しました。保護者や地域の方々のご支援に感謝申し上げます。今後も、子どもたちの成長のため、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

**終業式での校長の話です。**

１学期、私は１年生と面談をしました。その中で「中学校に入って初めての運動会の感想」について質問をした人がけっこういます。皆、口々に「楽しかった」と話しますが、理由を聞くとこんな答えが返ってきます。「小学校と違って、３年生の先輩方がみんなを引っ張ってくれて、自分たちでやっているという感じがあったから」「勝っても負けても最後まで一生懸命で、“青春”という感じがしたから」「先輩も後輩もみんなで大いに盛り上がったから」。すべて、その通りなんだろうなと思って聞いていました。紫波三中の生徒のパワーには本当に驚かされます。１年生の何人かには、「あなたたちも２年後、後輩を引っ張るんだよ」という話をしましたが、皆しっかりと頷いていました。２学期は３年生、２年生の順で面談をします。楽しみにしています。

さて、私は中学生には、**自分たちで考え、正しく動く力**を身につけてほしいと考えていますが、今話したことはまさにそのような力をみなさんがつけている証になると思います。また、伝統を引き継ぐことにもなると思いますが、運動会のみならず、日常生活のあらゆる場面、例えば、生徒会活動、部活動などでもそんな様子がみられました。３年生の姿を１、２年生がみて、皆が一生懸命に頑張っている様子が見られた１学期。今、私はとてもうれしい気持ちでここにいます。みなさん一人ひとりは、実は自分が思っている以上に力をつけていると思います。ぜひ、自信をもってほしいと思います。

さて、私が、紫波三中に来て１年と４か月が過ぎようとしています。昨年も「毎日のように、暗いニュースが多い中、紫波三中のみなさんは、総じて毎日元気に登校している」という話をしました。今年度も同じことが言えると思います。紫波三中は、理想的な“中学校生活”を思う存分に送ることができる学校です。私は、これは、当たり前ではなく、とても幸せなことだと思っています。

明日から夏休みです。ここでみなさんに一つお願いがあります。昨年も話しました。それは、「夏休み中、広島原爆の日、長崎原爆の日、敗戦の日があります。新聞でも、テレビでも、雑誌でも、本でも、ネットでも、何でもいい、少しの時間でもいいから、『戦争』についてじっくり考える時間をつくってください。７９年前の日本を思い浮かべ、今の暮らしを考えてみてください」ということです。今後の日本をどうすべきか。そのためには、自分の国で起きたことを少しでも知ることが大切です。

では、やろうと決めたことをしっかりやり切って、満足できる夏休みを送ってください。約１か月、28 日間の夏休みが充実するか、しないかは、一人ひとりの心がけ次第です。交通事故や健康管理に気を配り、8 月 23 日、また「おはようございます」と元気に登校してきてください。みんなに会えるのを楽しみにしています。

## 【SDGｓ　ｄｅ　地方創生　ワークショップで紫波町の未来を考えよう】

７月４日（木）、３年生の総合的な学習の時間の一環として、講師にNPO環境パートナーシップいわて幹事でみちのく盛岡広域連携都市ビジョン懇談会委員の舘川　浩氏お招きし、授業をしていただきました。

SDGｓのゲームを取り入れた研修は県内の自治体や学校で多く取り入れていて、ゲームを通して、「まちづくりに、ＳＤＧｓの考え方を取り入れることの意味」を知り、「まちの課題は何か、どうすれば解決できるかについて考えること」を目的としているそうです。生徒は、SDGｓの本質を理解し、体感するとともに、まちづくりに対しての自分の在り方や姿勢、コミュニケーションの大切さについてよく考えていたようです。

## 【夏休みをどう過ごす？　どう過ごさせる？】

さて、いよいよ明日から夏休みです。もしかしたら、過ごし方次第で、子どもがよい方向へ進むかどうかの分かれ道になると言っても言い過ぎではないかもしれません。それは、夏休み中には悪い習慣がつきやすいからです。例えば、学校が休みだと早起きする必要がありませんから、ついつい夜更かしをしていまい、それが原因で朝寝坊が癖になることが考えられます。また、決まった時間に食事を摂らなかったり、間食が増えたりして、体調を崩すことも考えられます。生活リズムが崩れることにより、疲れやすくなったり、集中力が低くなったりすることもあり得ます。こんな状態になれば、宿題や課題だって手つかずのままになってしまうかもしれませんよね。こうなってしまったなら、元に戻すのは至難の業です。２学期初日、学校が再開した時、どうなっているかは想像に難くないでしょう。子どもがどう過ごすかは、もちろん大事ですが、大人（お家の方々）の働きかけも重要です。今日は、そのポイントを２つほど簡単に紹介します。

**１　やりたいこと・やるべきことを書きださせる。**

簡単に箇条書きで構いません。小学生じみたことかもしれませんが、文字にしておくといいのではないでしょうか。それをもとに話し合い、親が不足部分を補いつつ、子どもが自分で考えた『目標』を完成させます。

**２　進捗状況を確認し、本人に軌道修正をさせる。**

親は子どもの様子を見守り、励まして支援する役割を担います。時折進捗状況を確認してください。毎日確認する必要はまったくありません。例えば、週末に１について、「どう順調？」と聞いて「順調」と答えるなら、そのまま見守ればいいですし、「○○がちょっと……」というなら、「どうすればいい？」と投げかけるだけでOKです。どんな態度をとるかは別にして、少なくとも文字にした自分の目標ですから、自身で考えることはすると思います。

参考になるかどうかはわかりませんが、たった２つですので、やってみてもいいと考え、紹介しました。では、28日間の夏休みが安全で充実したものになることを願っています。よろしくお願いいたします。